

鵜川っ子 読書っ子



鹿野町立鵜川小学校図書館 H29 11月発行No.7



からだ ころろ

体も心もあたたためて…☆≡

みなさん、季節が秋から冬にかわりはじめてきましたね。暗くなるのもはやくなり、寒さも増してきています。そんなこの季節は、暖かいお部屋でゆっくり心温まる本を読むのがおすすめですよ♪物語の登場人物に気持ちを重ねたり、素敵な詩に触れたりすることできっとみなさんの心がほかほかしてくると思います。温めた飲み物といっしょに本を読むのもおすすめですよ（ページにこぼさないようにね^^）。

たの 楽しかったね！お話し会(^^)

先月30日に、加夢加夢お話し会のみなさんが読み聞かせをしにきてくださいました。季節に合う本をテーマに、秋にぴったりなお話をたくさん聞かせてくださいました。あとからうかわっ子のみんなの感想を読むと、一人ひとり心に残るお話が違って、くらべてみるととてもおもしろかったです♪図書委員のみんなも、今年度2回目のボランティアさんのお手伝いを、一生懸命頑張っていました(^^) 次回は12月を予定しています。今から楽しみです！

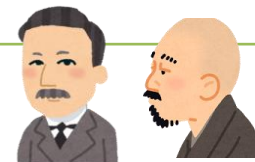
どのお話も季節に合った素敵なお話でした(^^)



みんなの感想や、図書委員のがんばりも伝わっていました♪



せいたん 生誕150周年！



2017年も残すところあと2か月をきりました。実は、2017年は2人の有名な人物が生まれてから、150周年というアニバーサリーイヤーなんですよ！その人物たちとは夏目漱石と正岡子規です。

夏目漱石は、『吾輩は猫である』『坊ちゃん』といったユーモアあふれる作品を生み出した作家です。同時に、現在の東京大学を卒業したエリートでもあり、1984年から2007年まで千円札の肖像画もつとめました。代表作は中学校や高校の教科書にも掲載されたり、ドラマや映画の原作としても使われたりして、とても親しみやすいです。

国語の教科書では、俳句や短歌で必ず名前が出てくる正岡子規。彼は歌人、俳人としてだけでなく、国語研究家として日本語の近代化にも力を尽くした人物です。

このアニバーサリーイヤーをきっかけに、この2人の作品に触れたり、人物像をとらえてみたりするといいかもしれませんね♪

今月の詩
にぎりごぶし
悲しいときや苦しいとき、
ぼくはいつも
ごぶしをかたくにぎりしめる。
すると、苦しみや悲しみは、
みんな ぼくからにげてゆく。
勉強で なきたくなるとき、
ぼくはごぶつと
ごぶしをかたくにぎりしめる。
すると、本の字がはつきり見えてくる。
また、北風が ビュービュー、
ぼくをいじめるとき、
ぼくはおねをはり、
ごぶつ、ごぶしをにぎりしめる。
すると、風のやつ、
急に道はたの木へにげ帰り
えだを、ガサガサ くやしそうに
ゆすっているんだ。
村野 四郎

